

■未来シャッター■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 137 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

137 目次

- 1. ブログから：未来シャッター
- 2. 今週のお知らせ：屋久島旅行
- 3. まつむら塾
- 4. 今後の予定：今週・来週以降
- 5. アクセスポイント：問い合わせ先
- 6. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. ブログから：未来シャッター

昨夜、蒲田のキネマフューチャーセンター (<http://kinemafc2013.wixsite.com/kinemafuturecenter>) で、【未来シャッター】という映画を見てきた。この映画は、映画監督(?)の高橋和勸氏が資金ゼロから地域の賛同者を集め作り上げた映画で、昨夜は 70 回目の上映会、それも鑑賞後に参加者同士が語り合う「ダイアログ体験付」という不思議な映画だった (<http://mirais shutter.weebly.com/>)。閉ざされた未来のシャッターを開くため、登場人物たちが自ら引いた一線(境界線)を越えていくのだが、交通機関、金融機関、教育機関、町工場やベンチャー企業、さらには宗教家までが実名で登場する「リアルなフィクション」だ。前作の【商店街な人】に端を発する一連の活動の中で、会場のキネマフューチャーセンターをはじめ、リアルな添付やプロジェクトを生みだしてきたという、まさに「リアルを生み出す映画」と言えるだろう。

ところで、この「フューチャーセンター」という言葉、最近よく耳にするのだが、異なった組織や立場の人々がその組織や立場を離れ、自由に関係性を形成し、未来志向で創造的な対話をおこなう「場 (ba)」を意味するらしい。この〈新たな場〉の概念を提唱したのは、現在、スウェーデンのルンド大学教授をつとめるレイフ・エドビンソンで、1996 年、当時彼が所属していたスカンディア保険会社が創設した Skandia Future Center が最初とされている。人は誰しも、過去や現在について議論すると、しがらみや利害の虜となってしまう。しかし未来や夢について語りあうとき、人はみな創造的になりうるものである。そこでは、ブレインストーミングなどに適した空間演出もさることながら、フューチャーセッションと呼ばれる創造的議論の進め方などむしろソフト的なしくみが重要といわれている。蒲田の「キネマフューチャーセンター」における映画「未来シャッター」とは、参加者のイメージを巧妙につなぎ合わせる、まさにその仕掛けなのだ。

対話の中で、次第にその種が明かされるにつれ、僕の胸は高まった。それは僕自身、マインドサイトからまつむら塾へと考え続けてきたことが、こうして実社会でも展開されていることを知ったからだ。僕は物事を「目的と方法」に分解して考えることを提唱してきた。それは自分の「思いと行動」のこと。自分が当事者であれば、世界は必ず「自分から見た主観的な面」と「事実としての客観的な面」の 2 面を持つが、前者を「目的や思い」、後者を「方法や行動」と僕は言い換える。この 2 面は表裏一体で、いかなる物事においても常に同時発生するのだが、とかく我々の議論は後者の「方法や行動」に終始する。確かに前者の「目的や思い」は人それぞれに異なる

ので、その集約や選別は難しい。だが、「目的や思い」を持たない「方法や行動」は実現でなくまぐれに過ぎない。あらかじめ未来を論じなければ、我々はタダ成り行きに身を任せているだけになってしまう。だが、未来を論じるのは過去を論じるよりずっと難しい。それは、誰もが違う答えを持つ上に、その正誤など誰にも分らないからだ。誰も自分の答えが正しいと考えるので、他人の違う答えを受入れ難いのは当然だ。その壁を、この映画は「未来シャッター」と呼んでいる。そのシャッターを開け、自分以外の人が描く未来に耳を傾けることが必要だ。そのことに気付き、自由に未来を論じることで、フューチャーセッションも成立する。「自動車産業に未来はあるか？」に対して賛否を論じるのではなく、「将来自動車産業が発展したとき、世界はどうなっているだろうか？」とあらかじめ描いた未来を一旦受け容れた上で論じ合うことで新たな気づきを生み出していく。その時はガソリンは使わないだろう、その時タイヤは無いだろう、その時車体は無いだろう…となって、結果的に自動車そのものが否定されることもあるかも知れない。

こうした発想が革新(イノベーション)を生む。頭から否定せず、肯定から始めたのに結果として否定に至ること、あるいはその逆が新たな合意を作り出す。例えば「日本政府が破たんする」という僕の自論は、予想ではなく願望だ。現代の日本は、目先の東京オリンピック以外に目標の無いお先真っ暗な社会だ。どちらをみても、このまま行けば破たんする話ばかりに取り囲まれている。破たんせずに未来ビジョンを誰も描くことができないのなら、不自然な財政や無責任な政策が破たんすることで社会は混乱するかもしれないが、その後どうなるかをみんなで論じ合うべきだと僕は思う。活力を失った地域を活性化したいのなら、あらかじめ活性化した姿を想定し本当にそれを望んでいるのかをみんなで議論するべきだ。一人一人が望む世界を目に浮かべ、それらを見せ合うことで大勢がビジョンを共有しなければ、その実現はおぼつかない。

前作の【商店街な人】は行政フル出演だったのに対し、本作の【未来シャッター】は全編民間組織や個人の取組で構成されているのも重要だ。民間市民が当事者意識を失い、福祉やまちづくりを役所仕事と勘違いしていることが、最大の問題だと僕は思う。昨夜の対話の中でも、某都の職員たちが「市民がやってくれないから、仕方なくまちづくりをやっている」と口を揃える。安倍政権の「全世代型の社会保障」など、国民を甘やかすのもいい加減にして欲しい。僕が、民有土地資源活用の所有者参加を推進するのは、所有者の当事者意識を高めるだけでなく、所有者との協働により利用者の当事者意識も高めたいからだ。未来を描くことで革新を生み出す「フューチャーセンター」の取組に、これからも注目していきたい。

nanoni.co.jp/20171210-2/

.....

2. 今週のお知らせ：屋久島旅行

私事ですが、12月19日は35回目の結婚記念日ということで、12/17～12/19の2泊3日で屋久島に行きます。鹿兒島、屋久島で下記の時間帯が自由になりますので、現地でお目にかかれる方大募集です。

鹿兒島：12/17(日)10時過ぎ～13時ころまで。鹿兒島南埠頭近辺でランチしましょう。

屋久島：12/17(日)夜、レンタカーがあるので夕食どこでも。

12/18(日)夜、宮之浦エリアで夕食しましょう。

なお、12/18は終日レンタカーで島内めぐり、12/19午前は屋久島里めぐり推進協議会主催の宮之浦めぐりに参加予定です。www.yakushima.jp/

現地情報など大歓迎ですので、お便りお待ちしております。

.....

3. まつむら塾

■開催予定 講義+演習

笑恵館では毎週土曜日の午後、随時開催いたします。

- ・日程：12/16、1/6,13,20,27（毎週土曜日）12-21時
- ・会場：笑恵館、受講料：3000円／講座・初回無料

・予約制：このメールに返信、またはタイムチケットで

<https://www.timeticket.jp/items/39813>

その他会場募集

・まつむら塾を開催させてくださる会場を募集しています。

・会場提供者は、受講料免除といたします。

■自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

まつむら塾の講義内容を、自由に閲覧できるサイトです。

■個別メール・まつむら塾

まつむら塾の講義内容について、気軽に質問を受け付けます。

初回無料、月額 3,000 円～承ります。

.....

4. 今後の予定：今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

(月) 12/11 ○作業日 午後から都心に居ます

(火) 12/12 ○作業日 午前中世田谷方面

(水) 12/13 ○作業日 午後世田谷方面

(木) 12/14 ○作業日 午後から笑恵館で面談可

15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議

17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議

(金) 12/15 ○作業日 午後から笑恵館で面談可

(土) 12/16 ○作業日 終日笑恵館で面談可

10-16 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)

(日) 12/17-19 屋久島旅行(現地で会える人募集中)

■その後のイベント

12/21 13-16 時 ★笑恵館なるほどデイ

12/22 19-21 時 ★カップラー起業交流会(三茶)

12/25-6 ★訪問：千葉鴨川&御宿グッドネイバーズ

12/27 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議

12/28 19-21 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ 12 月例会(忘年会)

1/06 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)

1/11 15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議

1/11 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議

1/13 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)

12/16 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)

1/21-24 シンガポール旅行(現地で会える人募集中)

2/02 19-21 時 ★第 25 回 解決しゃべり会

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。 <http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのこ(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe...>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>